

物価高
から

くらし支える市政に

10月5日
鶴岡市議選

日本共産党市議 4 名で



日本共産党鶴岡地区委員会は、9月28日告示、10月5日投票で行われる鶴岡市議選(定数28)に現職4人の擁立を発表しました。

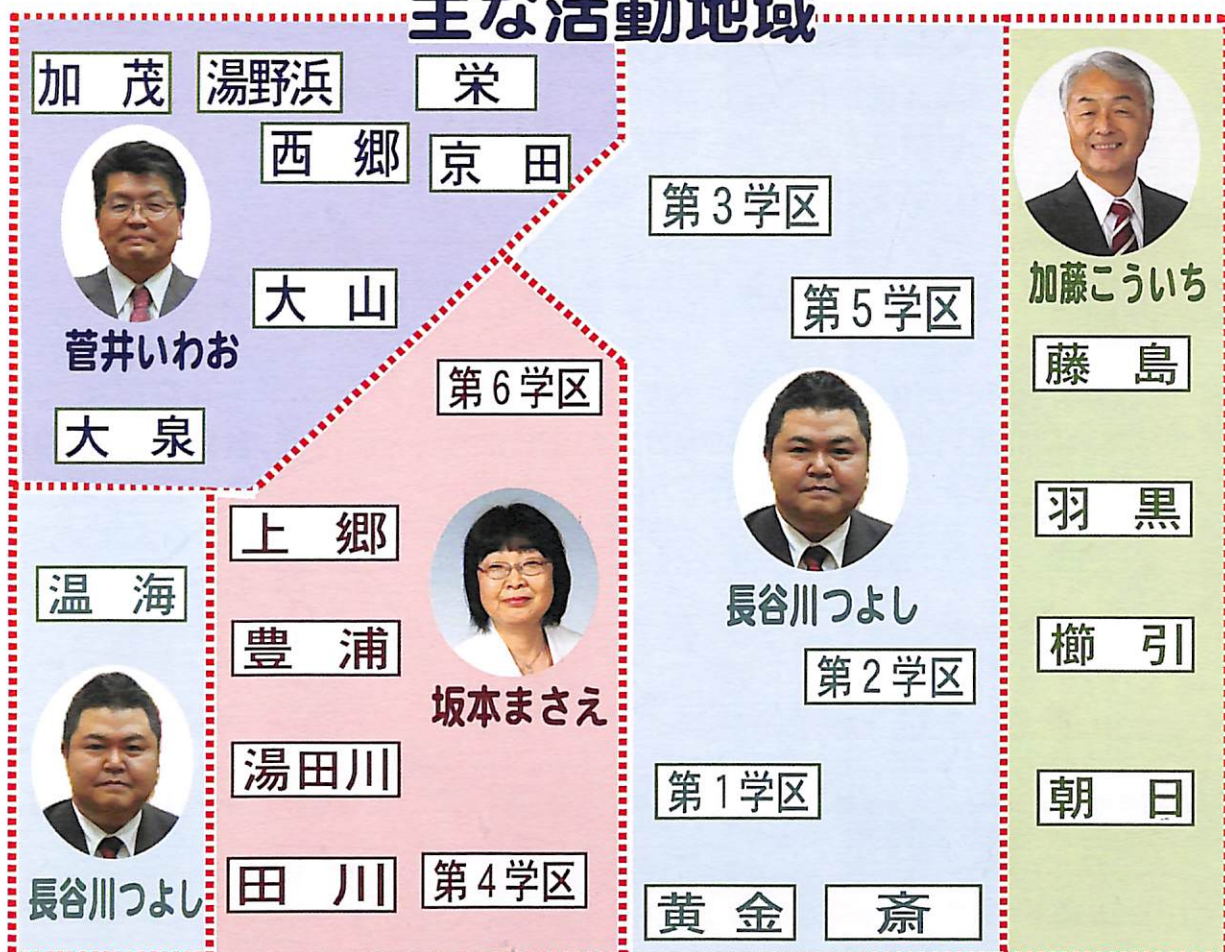
7月参議院山形選挙区に
三井寺 修
党県国政対策委員長



- ◆1980年山形市生まれ。
山形大学教育学部卒業。
- ◆日本大学教職員組合専従書記、日中友好協会東京都連事務局などを歴任。
- ◆2024年衆院山形1区候補者。
県常任委員、党県平和運動部長



主な活動地域

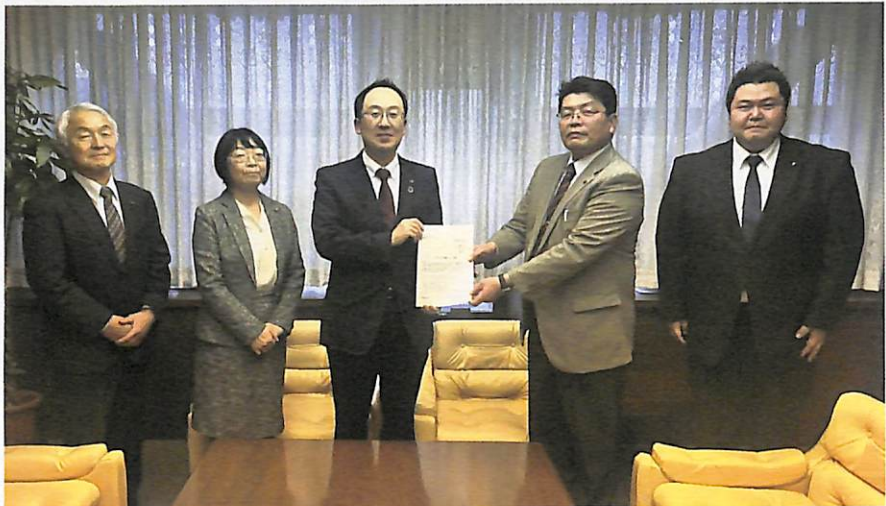


市民アンケートにご協力ください

大軍拡ストップ！消費税減税の願いは日本共産党に

市民の願いで 市政を動かす

日本共産党市議団



毎年、皆川治市長に予算要望書を提出



2023年末、西目地区土砂災害現場を視察 高橋ちづ子前衆院議員と



2024年7月、豪雨による転作大豆畑の被害確認 岩淵友参院議員と



街頭から訴える市議団

県議会議員
関とおる



4人の市議団と力を合わせて、「市民と対話でつくる」皆川市政を前に進めてきました。子育て、医療・介護、商工業・農業を守る仕事に全力を挙げます。

くらしをまもる

高卒まで子どもの医療費助成

長年の市民の運動と結んでくり返し質問、令和5年度に高校卒業までの無料化が実現。子育て世代から喜ばれています。

小中学校給食の無償化

コロナ禍・物価高騰に伴う国の特別交付金を活用して事業が始まり、その継続を求める田川食健連などの市民運動と協力し要望、令和6年度から無償化を実現しました。

国保税 1人4千円引き下げ

繰越金と基金の活用での引き下げを訴え、令和4年度に一人4千円の引き下げが実現。子どもの均等割ゼロについて、議会で取り上げ、国政への働きかけを強めて、就学前の子どもが半額に改善。



願いを届ける

この間、市民(団体)から提出された請願等へは、そのほぼすべての紹介議員となり、採択に向けて他議員と共同を行い、その実現に全力をあげてきました。

「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」提出の「治安維持法犠牲者の賠償を求める請願」は、旧市議会を含め過去7回、不採択となっていましたが、昨年9月議会では、日本共産党市議団はじめ賛成14、反対11で採択され、歴史的快挙となりました。

国の政治にキッパリ意見

※議長 尾形昌彦

市議会の態度 ○賛成、×反対、△賛否分かれる	共産	声	SDG	フォ	リベ	希望	公明	創政
訪問介護の基本報酬引下げの撤回を求める意見書提出に関する請願 (2025年3月議会)	○	○	○	○	○	○	×	×
核兵器禁止条約の署名・批准を国に求める意見書提出に関する請願 (2024年12月議会)	○	○	○	○	×	△	欠	×
東北電力女川原子力発電所の再稼働を行わないことを求める意見書 (2024年9月議会)	○	○	○	×	×	×	×	×
医療機関・介護施設へのさらなる支援の拡充とケア労働者の勤務環境と処遇改善を求めるための意見書提出に関する請願 (2024年6月議会)	○	○	○	×	×	×	×	×

- 【共産】菅井いわお、坂本まさえ、加藤こういち、長谷川つよし
【声】(市民の声・鶴岡) 草島進一、遠藤初子
【SDG】(SDGs鶴ヶ岡) 田中宏、南波純
【フォ】(市民フォーラム) 石井清則、工藤博
【リベ】(リベラル) 本間信一、阿部寛
【希望】(希望のつどい) 中沢深雪、佐藤麻里
【公明党】秋葉雄、富樫正毅、黒井浩之
【創政クラブ】佐藤博幸、佐藤久樹、本間正芳、佐藤昌哉、五十嵐一彦、小野由夫、本間新兵衛、渋谷耕一